

新しい一年が始まりました。はな組の子どもたちは、少しずつ“友達と一緒に”が楽しくなり、触れ合いを喜んだり、友達や保育者と一緒に正月遊びやごっこ遊びを楽しんだりしています。

正月遊び・凧揚げ



日本の伝統的な遊びに触れる体験をしてほしいという思いから、子ども園では、手回しゴマ、絵合わせ、凧あげなどの正月遊びを取り入れています。

年末から遊んでいるコマ回しでは、繰り返し取り組んできたことで、少しずつ回せるようになり、自分でできたことを喜ぶ姿が見られます。そんな子どもたちに、コマと同じ大きさに切った紙を用意し、クレヨンで好きなように色を塗り、コマの上ののせて、回したときの色の変化を楽しめるようにしました。2、3色自分の好きな色を選んで塗る子や、たくさんの色を使って塗ってみる子など様々です。回したときにしか分からない色の変化に、子どもたちは「見てみて!」と友達の塗ったコマの色を見たり、紙の両面に色を塗り、付け替えながら、どんな色になるのか試したりしています。絵合わせでは、保育者や友達と一緒に遊ぶ中で、遊び方が分かって楽しく取り組めるように言葉を掛けています。絵を見ながら同じ札を集めることを楽しむ姿もありますが、少しずつ本来のルールで、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしています。また、こうした正月遊びを通して“順番を待つ”“決まりを守る”ことで“みんなが楽しく遊べた”ということを感じられるようにすることも大切にしています。

凧作りでは、「たこのうた」を歌ったり、年中児が園庭で凧揚げをしていた様子を見たりして、興味をもっていた子どもたちは、作り方を知らせると、すぐに作り出しました。凧ができあがると、早速外に出て走り回り、凧が揚がったことを喜んでいました。しばらくすると、立ち止まっても風が吹くと凧が宙に浮くことに気が付き、風によって凧が上がったり下がったりする様子を楽しむ姿も見られました。



みんなで絵合わせ
やってみよう



みつけた!

何色になるかな?



凧が揚がったよ!



今おさえない生活習慣 ～自分の物は自分で～

いよいよ、あと2ヶ月で進級です。少しずつ、ほし組やにじ組になることを楽しみにする姿も出てきているように感じます。自分が大きくなったことにうれしさを感じながら、進級に向けて「自分のことは自分でしよう」という気持ちが、さらにもてるようにしていきたいですね。自分のことを自分でするのは、主体的に生活する気持ちの基になります。

○自分の荷物は自分で持っていますか？

リュックや絵本袋などの自分の荷物は、子どもが自分で持つようにしましょう。自分の物を持つことで、少しずつ力も付いていきます。また、自分の持ち物であるという認識ができるため、どこに置いたか、片付けたかも自分で把握できるようになります。

○帽子を被って登園していますか？

年中児になると、園服を着て、園帽子を被って登園することになります。はな組の今は、園服や園帽子はありませんが、ピンクのカラー帽子を被って登園することになっています。帽子を被ることを習慣としていくためにも、今から毎日被って、登降園するようにしましょう！また、園服にはボタンが付いており、自分で脱ぎ着をするようになります。ご家庭でも、少しずつボタンの留め外しをする機会をつくるようにしてみてください。初めのうちは、部分的に手を添えてやり方を伝えながら、自分でできるようにしていきましょう。



○持ち物は親子で一緒に準備しましょう

ハンカチやタオルなどを忘れたときに、「お家の人が忘れちゃった」という声が聞かれます。自分で持ち物をリュックに入れることで、持ち物への意識がもてるようになります。まずは、親子で一緒に持ち物の準備をしてみてください。仕方が定着するまでは、お子さんが一人で準備をしても、最後は保護者の方が確認をお願いします。



おたんじょうびおめでとう